

受験申込書記入上の注意事項

受験申込書の記入に当たっては、次の事項に注意して、ボールペンを使用し、楷書で正確に記入してください。記入例(24 ページ)を参考にしてください。

1 「希望する受験会場」

希望する受験会場について、該当する数字を○で囲んでください。特定の会場に受験希望者が集中した場合等は、申込者の了解を得た上で、受験会場の変更をお願いすることがあります。

2 「身体障害等による受験に際しての配慮の必要性」欄

該当する数字を○で囲んでください。

「1必要あり」とした方は、「特別措置申請書」を併せて提出してください。

具体的な対応(試験時間の延長、別室の設定等)等については、内容確認後、改めて通知します。

※「特別措置申請書」については、受験案内配布窓口にてお問い合わせください。

3 一般的事項

- (1) ※印(申込番号、受験番号)以外の部分は、漏れなく記入してください。
- (2) 「名前・性別・生年月日」欄は、住民票に記載されている内容を記入してください。
- (3) 名前、住所等は、楷書で記入してください。
- (4) 勤務先関係欄は、本試験の受験要件にかかわるものです。
本文P2の「3 対象者」の(1)「受験地」をご確認ください。
- (5) 確認等を要する場合に連絡をとるために「平日昼間の連絡先」欄を記入してください。

4 個別的事項

(1) 「勤務先名称」欄

法人名から記入してください。

(2) 「法定資格等」欄

該当する数字をすべて○で囲んでください。受験資格の確認に必要となります。

(3) 「実務経験」欄

- ①勤務先の変更等で勤務先が複数にわたる場合は、受験に必要な実務経験期間を満たすのに該当する勤務先すべて記入してください。直近の勤務先で、定める実務経験期間を満たす場合は、直近の勤務先のみで構いません。
- ②当欄に記入した勤務先全てについて、各勤務先の実務経験証明書を添付してください。実務経験証明書と内容が一致するようにご記入ください。
- ③直近の業務期間最終は、申込年月日としてください。ただし、見込みの場合は、実務経験を満たす日まで記入してください。
- ④業務従事日数は、記入した業務(見込み)期間中の実従事日数を記入してください。
- ⑤合計の月数は、1箇月未満は切り捨てて計算してください。